

インフルエンザ患者報告数が、警報レベルを超えました

○令和7年第47週（11/17～23）の熊本県感染症発生動向調査で、県全体のインフルエンザの一定点当たりの患者報告数（※）が32.82（定点数72か所：報告数2,363）となり、警報の基準値（一定点当たり30）を超えました。

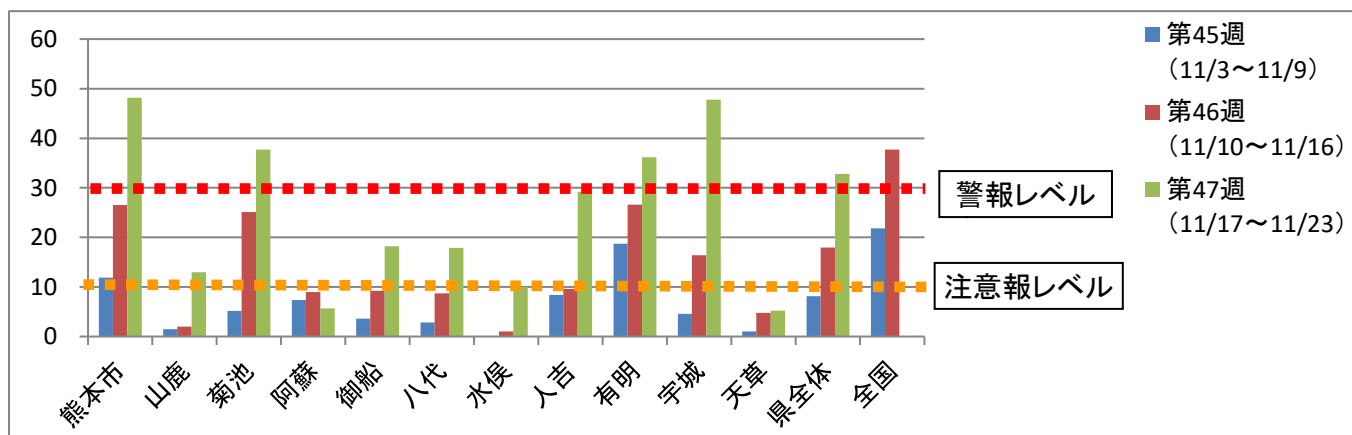
○保健所別では、①熊本市（一定点当たり48.17）、②宇城（同47.80）、③菊池（同37.71）、④有明（同36.14）の順に高くなっています。

○今後、忘年会・新年会、帰省等により、更なる感染の拡大が予想されます。一人ひとりが正しい知識を身につけて、「定期的な換気」「マスクの着用を含めた咳エチケット」「手洗い」などの基本的な感染対策をお願いします。

○特に、保育所・幼稚園、学校、高齢者施設など集団生活の場では、感染予防に努めてください。65歳以上の方等は、かかりつけ医に相談し、ワクチン接種を検討してください。

※一定点あたりの患者報告数とは、1週間のうち定点医療機関（あらかじめ選定された県内72医療機関）から報告された患者数を定点医療機関数で除した値です。

<一定点当たりの患者報告数>



※全国の第47週の情報は、厚生労働省が11月28日（金）に公表予定。

<保健所別一定点当たりの患者報告数>

網掛け：警報レベル

網掛け：注意報レベル

	熊本市	山鹿	菊池	阿蘇	御船	八代	水俣	人吉	有明	宇城	天草	県全体	全国
第45週 (11/3～11/9)	11.88	1.50	5.14	7.33	3.60	2.86	0.00	8.40	18.71	4.60	1.00	8.13	21.82
第46週 (11/10～11/16)	26.54	2.00	25.14	9.00	9.20	8.71	1.00	9.60	26.57	16.40	4.80	17.96	37.73
第47週 (11/17～11/23)	48.17	13.00	37.71	5.67	18.20	17.86	10.00	29.20	36.14	47.80	5.20	32.82	

《参考》

厚生労働省ホームページ「インフルエンザ（総合ページ）」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuenza/index.html

熊本県ホームページ「今冬のインフルエンザ総合対策に取り組みましょう(2025-2026シーズン)」

<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/30/217990.html>

(連絡先)

健康危機管理課 感染症対策班

担当：松本、徳永

電話：096-333-2240 (33154)

(裏面あり)

【全国のインフルエンザ流行状況】

- ① 全国の令和7年（2025年）第46週（11月10日～11月16日）の一定点当たりの患者報告数は「37.73」となっています。
※厚生労働省の全国の発表は、毎週金曜日のため、1週古い情報になります。
- ② 今シーズンに検出されたウイルスはA型が最も多くなっています。
※インフルエンザウイルスは大きくA型・B型・C型及びD型に分類され、国内で報告されるのは、主にA型とB型です。

【インフルエンザはどんな病気？】

- ① 突然の高熱と寒気、頭痛、全身のだるさ、筋肉痛などの全身症状が特徴です。
- ② 時には肺炎や脳症などを併発して重症になることもあります。
- ③ インフルエンザはその年により流行の程度に差がありますが、例年11月から12月に始まり、翌年の1～3月頃の間には患者数が増加します。

【インフルエンザの予防法は？】

- ① 流行時には人混みを避ける。
- ② 20秒以上時間をかけた丁寧な手洗いを習慣づける。
- ③ 栄養・休養・睡眠を十分に取る。
- ④ 部屋の換気と保湿に心がける。
- ⑤ 場面に応じた適切なマスクの着用を行う。
- ⑥ 医師に相談のうえ、ワクチン接種を検討。

【インフルエンザにかかったらどうすればよいの？】

- ① 安静にし、十分な休養を。学校や職場へは無理して行かない。
- ② 早めに医療機関を受診して治療を受ける。
- ③ 水分（お茶、ジュース、スープなど）を十分に補給する。
- ④ 周りの人へうつさないために、マスクをつけ、外出を控える。
- ⑤ せきエチケットを守る。
 - ◆ せき・くしゃみの際はティッシュなどで口と鼻を押さえ、周りの人から顔をそむけましょう。
 - ◆ 使用後のティッシュは、すぐにフタ付きのゴミ箱に捨てましょう。
 - ◆ せきをしているときは、マスクをつけましょう。

【過去のシーズンのインフルエンザ流行状況】 第36週～翌年第35週までがシーズンと定められています

シーズン	流行入りした週 (※1)	注意報レベルに 達した週(※2)	警報レベルに 達した週(※3)	シーズン中、最も報 告が多かった週
2020～2021	—	—	—	令和3年第2週 (R3.1.11～1.17)
2021～2022	—	—	—	令和4年第33週 (R4.8.15～8.21)
2022～2023	令和4年第50週 (R4.12.12～12.18)	令和5年第5週 (R5.1.30～2.5)	—	令和5年第6週 (R5.2.6～2.12)
2023～2024	昨シーズンから流行	令和5年第39週 (R5.9.25～10.1)	令和5年第47週 (R5.11.20～11.26)	令和5年第49週 (R5.12.4～12.10)
2024～2025	令和6年第42週 (R6.10.14～10.20)	令和6年第50週 (R6.12.9～12.15)	令和6年第51週 (R6.12.16～12.22)	令和6年第52週 (R6.12.23～12.29)
2025～2026	令和7年第37週 (R7.9.8～9.14)	令和7年第46週 (R7.11.10～11.16)	令和7年第47週 (R7.11.17～11.23)	—

- 【国が定める基準】※1 流行入り ・ ・ 一定点当たりの患者報告数 1
※2 注意報レベル ・ ・ 一定点当たりの患者報告数 10
※3 警報レベル ・ ・ 一定点当たりの患者報告数 30